

宮古市重茂（おもえ）漁協の わかめづくり復興を支援する
「プロジェクトぷりぷりわかめ支援 2012」へのご協力をお願い



謹啓 皆様にはご健勝のことと存じます。

2011. 3. 11 の東日本大震災から、1 年余が経過しました。

たまたま、医療支援で関わった宮古市重茂のわかめづくりの復興にお手伝いをしようと立ち上げた「プロジェクトぷりぷりわかめ支援の会」は、全国から 90 名の方の賛同が得られ 80 万円余の基金が集まりました。昨年秋には、お寄せいただいた基金が購入資金となって、第一ぷりぷりわかめ丸が宮古の海に進水し、漁協の方々のお仕事に役に立っているそうです。

今年の 2 月には、早取りのわかめ、春ちゃんが重茂漁協から支援者の皆様もとへ送り届けられました。今まで味わったことのない、ほんとにぷりぷりとした、とてもおいしいわかめでした。

甚大な被害を受けられた漁協は、いまなお少ない船を共同で利用し、復興民となる意気込みで、わかめづくり復興へ頑張っておられるとのこと。今年も支援の継続し、第 2、第 3、…ぷりぷりわかめ丸購入のお手伝いできれば、と願っていますので、昨年と同じ形式で、わかめづくり復興を支援する**「プロジェクトぷりぷりわかめ支援 2012」**を行います。

お忙しい中、また、いろいろな組織への義援金をおおくりされたことと拝察し誠に恐縮ですが、ご一読いただき、ご協力いただければうれしい限りです。

ご検討、よろしく願いいたします。

謹白

プロジェクトぷりぷりわかめ支援の会

- 代表 : 千原幸司 (NPO 災害・医療・町づくり理事/ 静岡病院呼吸器外科)
 副代表 : 竹内亮輔 (静岡病院循環器内科)、山田 孝 (静岡病院呼吸器内科)
 会員 : 松下浩代 (静岡病院看護科)、宮澤真規子 (静岡病院看護科)
 青木 望 (静岡病院薬剤科)、福地 正倫 (静岡病院医事課)
 安田 清 (NPO 災害・医療・町づくり理事長)
 大村 純 (NPO 災害・医療・町づくり副理事長)

連絡先 : NPO 災害・医療・町づくり事務局
 〒420-0002 静岡市葵区材木町 9-10
 大村医院内 TEL:054-271-3578、FAX:054-271-3649、
triage@po4.across.or.jp
kojichihara420@hotmail.com



プロジェクトぶりぶりわかめ 2012



I 手順

事務局

- ① 賛同をお願いするための趣意書を送る、NPO のホームページで呼びかける
- ② 会の趣旨に賛同されて、2011 年の開設したゆうちょ銀行口座へ入金された賛同者へ受領の FAX、郵便、e-mail、電話で返信し、わかめ送付先の名簿づくりを行う
- ③ 入金された基金をすべて漁協へ送金する
ただし、募金趣意書郵送料と漁協への送金手数料は基金から差し引く
基金総額目標：300 万円～500 万円（わかめづくりのエンジン付き船 1 艙に相当）
- ④ 賛同者への宅急便の宛名書き（賛同者がグループの場合は代表者のみを記入し、同じ職場の場合は代表者を記入）を行い、この伝票と賛同者名簿を漁協へ送付



漁協

- ① 2013 年にわかめが収穫できたら、入金の約 5～7%（市場売値として）に相当するわかめを賛同者に宅急便で送る。
事務局が準備した賛同者名簿をもとに、わかめの袋に宛名記入済み伝票を貼って宅急便で送付する 賛同者がグループや同じ職場の場合は送料節約のため一括送付する
なお、このわかめ送付をもって賛同者へのお礼状とする

賛同者

（個人でも、グループでもよい）

- ① 基金（1 □ 5000 円、複数□歓迎）を指定の口座に振り込み、別紙の振込み通知書を事務局に FAX（または郵送）で送る。
グループの場合、全員の氏名を記入する
- ② 2013 年に送られてくるわかめを受け取る



II 備考

1. 募金期間は **2012 年 8 月末**とするが、できれば、来年へ向けての作業が始まる初夏までに基金が集まることを目指す。ただし、必要に応じて期間を延長する
2. 会計の透明性担保
プロジェクトぶりぶりわかめの基金の入金状況や賛同者数は、千原が理事として参加している NPO 災害・医療・町づくり <http://trriage.web.fc2.com/>（2007 年設立、理事長：安田 清（静岡県立総合病院副院長）、事務局：大村医院（静岡市）大村 純副理事長）のホームページにて随時、公開する。
2011 年度の会計決算書は監査を受けて公開した（資料）。
3. 事務局が預かる賛同者の個人情報はこのプロジェクトのみに使用する

事務局からのお願い



2011 年度ご協力の皆様へ

1) お近くの方々に支援の輪を広げていただけると嬉しく思います。

2012 年度からご協力の皆様へ

1) 別紙の初回の趣意書をご一読ください。
また、NPO のホームページに昨年度の資料がありますので、ご覧いただくと経緯がご理解いただけるとおもいます。

2011 年度ご協力の皆様、および、2012 年度ご協力をなされる皆様へ

1) 2012 年 2 月に漁協から送られてきた はやどりわかめ 春ちゃんは支援の会が提案した入金約 5~7% (市場売値として) に相当する量より多かったのでないかと思われました。漁協の方々のお気持ちかと思いますが、わかめ発送に経費がかかると漁協への直接支援が減額しますので、もし、可能であれば、宅配料金を少なくするためお近くの方とまとめて送ってもらえるようにグループを組んでいただいて、わかめが送られてきたときの分配していただくと幸いです。

あくまで、可能であれば、のお願いですので、無理はなさらないようにお願いします。

2) 必ず、振り込み通知書を送ってください。

なお、わかめの送り先がわかるように
〒住所、連絡先を記載をお願いします。

FAX、郵便、e-mail いずれでも結構です。



3) 最新状況やお知らせなどを NPO 災害・医療・町づくり のホームページに載せていきますので、ときどきのぞいていただくと幸いです。

資料

- 1) 2011 年度 趣意書
- 2) 2011 年度 決算書・監査書
- 3) 2012/4/17 静岡新聞夕刊記事



(イラスト：望月裕乃、富岡由美 all rights reserved)

プロジェクトぷりぷりわかめ支援の会 御中

平成 年 月 日

振り込み通知書

プロジェクトぷりぷりわかめ基金 金 _____, 000 円也

上記の金額を下記の口座に振り込みましたので、通知します。

記

振込日：平成 年 月 日

銀行名：ゆうちょ銀行

名 義：プロジェクトプリプリワカメシエンノカイ

代表者：千原幸司

ゆうちょ銀行から振り込む場合	他の金融機関から振り込む場合
記号：1 2 3 1 0 番号：8 3 3 0 0 2 1	店 名：二三八（読み ニサンハチ） 店 番：2 3 8 預金種目：普通預金 口座番号：0 8 3 3 0 0 2

住所：〒

氏名：

連絡先：TEL：

FAX：

Mail：

送付先 及び 送付方法

FAX : 054-271-3649

郵送： 〒420-0002 静岡市葵区材木町 9-10 大村医院内 NPO 災害・医療・町づくり事務局
プロジェクトぷりぷりわかめ支援の会 代表 千原幸司 宛

プロジェクトぶりぶりわかめ規約

団体名：プロジェクトぶりぶりわかめ支援の会

代表：千原 幸司（静岡病院呼吸器外科）

副代表：竹内 亮輔（静岡病院循環器内科）

山田 孝（静岡病院呼吸器内科）

会員：松下 浩代（静岡病院看護科）

宮澤真規子（静岡病院看護科）

青木 望（静岡病院薬剤科）

福地 正倫（静岡病院医事課）

安田 清（NPO 災害・医療・町づくり理事長）

大村 純（NPO 災害・医療・町づくり副理事長）

連絡先：NPO 災害・医療・町づくり事務局 大村医院

〒420-0002 静岡市葵区材木町 9-10

TEL:054-271-3578、FAX:054-271-3649、

メールアドレス triage@po4.across.or.jp

kojichihara420@hotmail.com

団体の目的：2011/3/11 東日本大震災にて被災した重茂漁協の漁業復興を支援すること

団体の構成員資格：宮古市の医療救援に関わった人、および会の趣旨に賛同する人

会計監査：佐藤二郎（東京女子医科大学八千代医療センター麻酔科）

会計報告はNPO 災害・医療・町づくりのHP で公開する

設立年月日：2011 年 6 月 28 日

資料：2011 年度趣意書

東日本大震災の被災地の復興を願っておられる皆様へ

宮古市重茂（おもえ）漁協のわかめづくり復興を支援する
「プロジェクトぶりぶりわかめ支援の会」へのご協力のお願い



謹啓 盛夏の候、皆様にはご健勝のことと存じます。

今年も昨年と同じく暑い夏がやってきました。この夏は電力不足もあって、普段の生活でもこれまでにない制限や工夫が必要となっていますが、復興に立ち上がられている被災地の皆様の苦労や困難さはいかばかりかと思われまます。

さて、突然のご案内とお願いをいたす失礼をお許してください。

3.11 の東日本大震災後、多くの人々が現地での救援、支援、そして義援金など、被災された方々への応援をされ、いまでも続けておられることと思います。

災害後いち早く現地にたどり着いた静岡県立総合病院と静岡済生会病院の DMAT がもととなり岩手県宮古市に医療救援の拠点ができました。これを静岡県が取りまとめて静岡県内の病院から継続してチームを派遣するプログラムが3月中旬に始まり、静岡病院も3月と5月に現地に出向きました。私たちは5月に出向きましたが、現地の医療機関の再開とともに医療活動の必要性は次第に低下してきていました。なによりも、現地の経済活動が復興することが大事なことと痛感しました。微力とはいえども、なにかできないものだろうかと考え、たまたま、関わった地区である重茂のわかめづくりの復興にお手伝いをしようと、別紙のプロジェクトを立ち上げました。

全国の多くの方が、たまたま関わった地域にさまざまな支援を行っておられます。このプロジェクトも点の支援で、私的です。しかし、点描が集まれば絵になるように、点の総和が面の支援となって経済が回れば広くなり公的となることを願っています。

お忙しい中、恐縮ですが、ご一読いただき、ご協力いただければうれしい限りです。

ご検討、よろしくお願ひいたします。

謹白

2012/3/15

2011年度収支決算書
(2011/3/11～2012/3/10)

1. 収入		
1 賛同者 (90人)		825,000 円
2 利息		18 円
	合 計	<u>825,018 円</u>
2. 支出		
1 第一ふりふりわかめ丸購入資金		815,000 円
2 振込料		1,260 円
3 宛名郵送料		500 円
4 次年度繰越金		8,258 円
	合 計	<u>825,018 円</u>

会計監査報告書

2011 年度会計（2011/3/11-2012/3/10）報告に記載された
内容、および金額、書類は監査の結果、適正に処理されて
いると認めます。

2012 年 3 月 19 日

プロジェクトぷりぷりわかめ支援の会

佐藤 二郎

監事

東京女子医科大学 11 代 医療セーブ



宮古のワカメ養殖支援 県内医師ら

購入した船「ぷりぷりわかめ丸」に乗って、ワカメを収穫する漁師
＝9日午前5時ごろ、若手県宮古市重茂



全国有数の養殖ワカメの産地で、東日本大震災で被災した若手県宮古市重茂で医療支援に当たった静岡市立静岡病院の医師らが、津波で多くの漁船を失った重茂漁協のワカメづくりを支援している。賛同者を募って漁船の購入費を集め、賛同者には特産のワカメをプレゼントする仕組み。すでに1隻の船が購入され、出漁している。

賛同募り 船購入 お礼は「ぷりぷりわかめ丸」

発起人は、昨年5月に被災地入りした同病院呼吸器外科の千原幸司科長。同行した同病院の医療スタッフや、県内の防災NPO「災害・医療・町づくり」所属の医師とともに「プロジェクトぷりぷりわかめ支援の会」を結成した。

重茂は、養殖ワカメの生産量が全国で最も多い若手県の中でも一番の産地。毎シーズン4千ト前後を収穫していたが、814隻あった船のほとんどが津波にさらわれ、残ったのはわずか14隻。厳しい状況でも懸命に仕事を続ける漁師の姿に触れた千原科長らは「ワカメづくりのために何かしたい」と支援に乗り出した。

昨年度は全国の賛同者約90人から80万円以上が集まり、漁協は船1隻を購入した。船名は「ぷりぷりわかめ丸」。今年のワカメ収

穫に使っている。同漁協の高坂菊太郎氏は「船が足りず、2人で1隻に乗り込んで作業する不自由な状態。船は大活躍で大変ありがたい」と話す。

2月下旬には、賛同者に新鮮な早採りワカメが届いた。「ワカメがこんなにおいしい」と好評で、今年度はさらに支援の輪を広げるため、積極的にPRしていく。「人目を引くように」と同病院の職員らが描いたワカメのイラストを活用し、ホームページ上はさらに支援の輪を広げるため、積極的にPRしていく。

静岡新聞 夕刊
平成 24 年(2012 年)4 月 17 日(火曜日)掲載